

JAL Wellness活動実施報告

実施事業名：JALグループ向け 視覚障がい者とともに運動・白杖手引き体験セミナー

実施日：2023年7月21日

参加会社名：日本航空人財本部、日本航空客室本部、JALサンライト

参加者数：19名（社員のお子さん2名を含む）

活動概要：ウィングホールでの対面形式で、JALサンライトの視覚障がいのある社員と、JALグループの晴眼者の社員が混ざり合いながら、白杖の使い方、視覚障がい者への手引き（誘導）を体験して、その後にミニブラインドサッカー体験を実施しました。

所感／参加者の声など

今回はJALグループ社員を対象に、夏休みを利用して社員のお子さんにもご参加いただきました。白杖・手引き体験では、障害物や点字ブロックを配置したコースを作り、参加者は2人ペアを作って、アイマスクを着けて白杖を持って手引きをされる役(視覚障がい者約)、手引きをする役と、交代しながら2つの役を体験していただきました。ミニブラインドサッカー体験では、現役のブラインドサッカー選手でもある視覚障がい社員がデモンストレーションを行い、その後に参加者が音の出るボールを蹴る体験などを行いました。また、視覚障がいのある社員への質疑応答の時間も設けて、参加者から多くの質問を出していただきました。

白杖・手引き体験の感想では、「実際に障害のある方の生の声を聞ける場面がとてもよかった。」「障がいの有無にかかわらず人と人とのコミュニケーションであることを念頭に、もし視覚障がいをお持ちの方がお困りの様子である場面に遭遇したらお声がけに努めたいと思いました。」といった感想をいただきました。

ブラインドサッカー体験では、参加者もアイマスクを着けて、視覚以外の感覚を使いながら音の鳴るボールを蹴ってパスをするなど、楽しみながら障がい者スポーツに親しんでいました。

この企画の目的である、社員の皆さんへの運動機会の提供とともに、視覚障がい者への理解を深めること、社内外で視覚障がい者にサポートを行うことへの心理的ハードルを下げることについて、他のJALグループの皆さんにも発信するよい機会になりました。また、今回は社員のお子さんも、楽しみながら積極的に参加していただきました。

今回の経験を踏まえて、今後もJALグループ内への体験会実施と、社会貢献の一環として教育現場への提供ができないかについても検討していきたいと思っております。

